

春一番ってどういう意味!?吹かない年もあるってホント!?

～春一番ってどういう意味!?!～

寒い冬から春へと移り変わる時期、「春一番が吹きました」とニュースや天気予報で聞いたことがある方もいるかもしれません。春一番とはどういう意味なのでしょう!?地域や气象台によって少し異なるようですが、基本的には北日本(北海道・東北)と沖縄を除く地域で「立春(2月4日頃)から春分(3月20日頃)までの間に、その年に初めて吹く南寄りの強い風」のことなのだとか。発生条件としては、「日本海を進む低気圧に向かって、南側の高気圧から10分間平均で風速8m/s以上の強風が吹き込み、前日に比べて気温が上昇する」ことが条件とのこと。このとき、突風や竜巻、高波の被害が報告されることもあるそうです。また、春一番が吹いた日は気温が上がって暖かくなるそうですが、翌日には冬型の気圧配置に戻り、寒くなることが多いそうなので注意が必要です。

～春一番の由来は!?!～

もともとは石川県や、三重県、長崎県の地方で昔から使われている漁師言葉ではないかという説があるようです。1859年3月17日、現在の長崎県五島沖に漁に出た漁師53名が春の強風に遭い、全員遭難してしまったことがきっかけなのだそうです。それ以来、漁師たちの間では春に初めて吹く強い南風を「春一」や「春一番」と呼ぶようになったそうです。長崎県郷ノ浦町内の岬には「春一番の塔」が建てられているのだとか。実は春一番は必ずしも毎年発生する訳ではなく、風が春分の日までに气象台の認定基準に当てはまらず観測されない年もあるそうです。

甘えを受け止めるほど必要な3つの力が育つ ～年齢別の甘えさせ方のポイント～

十分に「甘えられる」ことこそが、子どもにとって何より必要なこと!!甘えさせるときに大切なのは、一緒にいて欲しい、わかって欲しいという、子どもの気持ちに寄り添うことだそうです。

子どもには、親に温かい関わり、心の通い合いを求める気持ちがあるそうです。抱っこしてほしい、腹が立っているのをわかって欲しい・・・このような気持ちに寄り添ってもらった子どもは、ありのままの自分が受け入れられ、愛されていると感じるようです。これは、自分は大切な存在であるという自分への信頼感へとつながるのだとか。同時に、寄り添ってくれる親への信頼感も育まれ、周りへの信頼感へと広がっていくようです。自分と他者への基本的信頼感を育むことができれば、子どもは安心して親から自立することができるそうです。「甘えられる」ことが、生きていくために必要な3つの力を育てていくのだそうです。

①自分を信頼する力 十分に甘えられると、自分への信頼感が育まれますが、この力は子どもを成長させていくそうです!!

たとえば、自分への信頼感が弱いと、なにかに挑戦しようとしたときに、どうせダメだと思って、する前からしり込みしてしまったり、困難にぶつかったり失敗したりしたときに、無理だとあきらめたりすることがあるようです。しかし、自分への信頼感が強いと、うまくいかなくても自分ならできると思え、何度でも頑張れるそうです。失敗して落ち込んだときには、子どもはちょっと甘えたいかなるかもしれません!!そのときは、「残念だったね」と、よしよししながら悔しい気持ちを受け止め、パワーを充電してあげることがいいそうです。そうすることで、子どもはまたがんばることができるはず!!

どんなことにもチャレンジできるように 失敗を恐れず、努力を続け、それが達成につながることで、子どもは自分への信頼感をさらに高めることができるそうです!!そして、達成の喜びを親と分かち合うことで子どもはまた何かにチャレンジしたくなるようです。

☆3月☆

プール無料開放!!

3/17(日)

11:00～15:30

＊未就学児の子供さんは保護者同伴でご利用ください。

11:00～水中バスケット大会をするよ!
低年齢向きの玉入れや宝探しゲームもするので遊びに来てね(^o^)

10:00～11:00

泳力認定会(3～1級)&タイム測定会を行います!!

進級タイム突破でワッペンプレゼント!!

タイム測定会の参加には事前に申し込みが必要となります。

また、泳力認定には別途申込みと受験料が発生します。

※認定証のお渡しは4月頃になります。

お友達、お父さんお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんも一緒に遊びに来てね!!

～大人の選手コースのご紹介～



元選手の皆様!!

毎週土曜日、現役の選手に負けないくらい元気に練習しています(笑)

おやおや、中には見覚えのある顔も(^o^)

もちろんベストタイムも更新しています!!

青春時代を選手として活躍されていた皆様、興味がある方はぜひお待ちしております!